

# 成長と調和

取締役ファーマ事業部長 山内 成樹



新しい世紀の始まりを祝福する余韻がさめやらない2001年2月のある日、某新聞の小さな

コラム欄に目が引き寄せられた。それは米国の女性人口学者ドナラ・メドウズ博士が亡くなったという記事であり、彼女は1972年（昭和47年）にローマクラブが出した「人類の危機レポート・成長の限界」の主著者である。享年59才ということから、弱冠30才の若さでこの報告書を出版されたことを知り愕然としたのである。報告書は当時の成長路線を続ければ、人口増、資源枯渇、環境汚染による破局は不可避で21世紀半ばにも成長が停止すると警告した今でも脳裏に焼き付いている著書である。

当時を振り返りながら、書棚の片隅に眠っていた著書をほんとうに久しぶりに読み返してみた。

1970年当時、企業は地域に公害問題を抱えながら、高度成長路線をまっしぐらに進めていた時期であり、産業としては石油化学工業が花開いた時期でもあった。ところが数年して2度に及ぶ石油危機が発生し、

直ぐにでも地球の有限性から経済と環境を考えなければと本気に考えてしまったことを思い出す。現在でこそ常識かも知れないが、その当時30才の若さでこのような地球規模の問題に対し国際的なプロジェクトに参加し、膨大なデータの統計解析から、わかりやすく報告書にまとめあげたメドウズ博士の壮大な企画力と行動力をあらためて尊敬してしまった。

ではこの当時以降、環境、産業への貢献に分析技術がいかに貢献したかも少し触れて見たい。

1980年前後は石油ショックの後遺症から、化学産業は省エネルギー、省資源が最重要課題となり、製法の合理化、環境対策が推進された。その時、どの製造工程に問題があるかに大いに活躍したのが、GC/MSと1975年頃から急速に普及した高速液体クロマトグラフィー（HPLC）であり、特にHPLCはその後の研究開発に必須の分析技術となるとともに、現在ではLC/MS、LC/MS/MSとして環境、生命科学分野でさらに貢献する技術となっている。また同時代には、省エネルギー技術や品質管理技術をも武器とした電子産業、自動車産業が日本経済の牽引車として新しく登場し、瞬く間に世

界を席卷する時代となるが、分析技術も超微量分析、微小表面分析、微細形態観察等の技術が格段に進歩し、半導体開発、生産技術とともに生き生きとした時代を迎えていった。分析化学が一見地味なイメージを与えている反面、成長産業、社会的必要性とともに、研究開発、解析評価に常に関係して新しい波に乗ってきていることは喜ばしいことである。

21世紀の展望として、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジーが今後国家的、社会的に大きなプロジェクトとして動き始めようとしている。特に、日本でもバイオインフォマティクス（生命情報工学）の最先端の実験室では、DNAの塩基配列を読み取るシーケンサー（自動配列読取装置）が数十台設置されフル稼働を開始した。新技術、新分野への挑戦はものすごいスピードで始まっている。新しい分野の知識を吸収した分析技術者の活躍が、次の時代においても大いに期待できると感じているが、一人一人の基本的な考え方に、30年前に出版された「人類の危機レポート・成長の限界」で述べられた警告（成長と調和）を継承しながら新時代を切り開いてほしいものである。

## 編 集 後 記

「構造」をテーマにしたSCAS NEWS 2002-をお届けいたします。大阪大学の戸部教授に提言を賜りました。化学各分野の重要性を指摘されるとともに、科学技術が人類にもたらした変化についての問題提起をいただきました。また大阪大学大学院の村田教授に「天然物の構造解析」について解説していただきまし

た。「構造解析」は様々な手法があり、「分析」の中でも重要な位置を占めています。弊社の構造解析技術の一部を紹介させていただくと共に、これからも新技術の開発でお客様のご要望にお応えするよう努力していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

編集・発行 株式会社住化分析センター 発行日 2002.1.24 2002- (通巻15号)  
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-17 TEL06-6202-1807 FAX06-6202-0116  
ホームページ <http://www.scas.co.jp> E-mail: [webmaster@scas.co.jp](mailto:webmaster@scas.co.jp)



千葉事業所と愛媛事業所は、ISO/IECガイド25に基づく認定事業所で、環境分野の特定項目の認定を受けております。  
千葉事業所の認定番号：JCLA1  
愛媛事業所の認定番号：JCLA5

当社事業所はISO-9001の審査登録も受けています。  
千葉・筑波事業所：JQA-1105  
大阪・岡山事業所：JQA-1814  
愛媛事業所：JQQA-0253  
大分事業所：JQA-QM3707

はインシュタインの疑問符です。彼のあくなき好奇心と探求心こそが、宇宙真理発見の原動力だったのかも知れません。  
**SCAS** Sumika Chemical Analysis Service

東京営業所	TEL 03-3257-7201	大阪事業所	TEL 06-6466-5247
大阪営業所	TEL 06-6202-1000	筑波事業所	TEL 0298-64-4741
千葉営業部・千葉事業所	TEL 0438-64-2281	ファーマ事業部	TEL 06-6466-5246
岡山営業部・岡山事業所	TEL 086-477-8103	科学機器事業部	TEL 06-6202-0016
愛媛営業部・愛媛事業所	TEL 0897-32-3411	環境技術センター	TEL 0438-63-6176
大分営業部・大分事業所	TEL 097-523-1181	バイオ技術センター	TEL 06-6466-5251
SCAS SINGAPORE PTE LTD.	TEL 65-425-4477		

本誌は再生紙を使用しています